

事例番号:270069

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第二部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 5 日

17:18 頃「昨日 14:00 から胎動がない」、来院

18:00 超音波断層法、胎児心拍数陣痛図より胎児心拍数基線 150 拍/分、一過性頻脈(-)、一過性徐脈(+)、基線細変動乏しい、変動一過性徐脈あり、ノン・リアティブ胎児心拍異常、潜在胎児仮死の診断、入院・緊急帝王切開決定、妊産婦・家族へ帝王切開に関し書面を用いて説明、同意取得  
腹部緊満感(-)、出血(-)、破水(-)

#### 4) 分娩経過

妊娠 38 週 5 日

18:46 手術室へ入室

18:50 胎児心拍数 120 拍/分

19:08 帝王切開開始

19:12 児娩出、頭位、小児科医立会いあり

19:13 胎盤娩出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 5 日

(2) 出生時体重:2644g

(3) 臍帯動脈血ガス分析値:

pH 7.102、PCO<sub>2</sub> 79.7mmHg、PO<sub>2</sub> <5mmHg、HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 24.9mmol/L、BE -5mmol/L

(4) Apgarスコア:生後1分7点、生後5分9点

(5) 新生児蘇生:なし

(6) 診断等:胎児仮死

(7) 頭部画像所見:

生後7ヶ月 頭部MRI:両側側脳室のいびつな拡張、周囲白質のT2延長、大脳白質の volume loss、脳梁の菲薄化あり、側脳室周囲に小さな嚢胞が散見される、PVL(脳室周囲白質軟化症)に矛盾しない所見

## 6) 診療体制等に関する情報

(1) 診療区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医2名、小児科医1名

看護スタッフ:助産師2名、看護師1名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は入院前に子宮内で生じた一時的な胎児胎盤循環不全による虚血性の中樞神経障害であると考えられる。

(2) 子宮内で生じた一時的な胎児胎盤循環不全の原因は、臍帯血流障害の可能性がある。

(3) 中樞神経障害の発症時期は妊娠38週3日-4日頃の可能性がある。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 分娩監視装置装着終了後15分で帝王切開を決定したことは医学的妥当性がある。

(2) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

### 3) 新生児経過

出生後の対応は一般的である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

本事例では児は異常なく出生し退院したため事例検討は行われていないが、その後重篤な結果に至っていることから、当該報告書を基にあらためて事例の検討を行うことが望まれる。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

陣痛発来前の胎児脳性麻痺発症機序の解明に関する研究の促進および研究体制確立が望まれる。

#### (2) 国・地方自治体に対して

陣痛発来前の胎児脳性麻痺発症機序の解明に関する研究の促進に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。